

クールジャパン戦略の取組について

平成26年6月7日

クールジャパン戦略担当大臣 稲田朋美

1. クールジャパン推進会議の開催

クールジャパン推進会議の開催 (H25.3~5)

- 稲田クールジャパン戦略担当大臣を議長として、発信力強化を目的とした、クールジャパン推進会議を設置
- 会議メンバーは、日本文化の第一人者である民間議員7名及び関係府省の副大臣等
【民間議員】
秋元 康氏(作詞家)、角川 歴彦氏(角川HD会長)、金 美齡氏(評論家)、コシノ ジュンコ氏(デザイナー)、佐竹 力総氏(日本フードサービス協会理事)、千 宗室氏(茶道裏千家家元)、依田 巽氏(キヤク(株)会長兼社長CEO)
- 本会議に並行して若者の視線から提言してもらうためのポップカルチャーに関する分科会を開催。
- 第4回会合(平成25年5月28日)において「アクションプラン」を取りまとめた。

アクションプラン(平成25年5月策定)の主な概要

- 食(スイーツ含む)、ものづくり、コンテンツ等の幅広い分野の連携による発信
- (株)海外需要開拓支援機構などの有効活用により、インバウンドの推進につなげるサイクルの実現。
- 外国人に対し、日本産酒類の魅力を日本食と併せて発信。
- 総理大臣、クールジャパン戦略担当大臣などによる発信。
- クールジャパンとビジットジャパンの効果的な連携。

2. クールジャパン発信の具体的取組 (1) － 第5回アフリカ開発会議 (TICADV) における発信 －

「アクションプラン」に基づく取組の第1弾として、第5回アフリカ開発会議(TICADV)の公式イベントであるアフリカン・フェア2013(※)のオープニング・セレモニーに稲田クールジャパン担当大臣が出席。アフリカ各国の首脳に対し、大臣自らが先頭に立って日本の魅力を発信。



(アフリカ各国首脳とステージに立ち挨拶)



(アフリカ各国首脳と鏡割りに参加)



(ヘアウィッグ製品のブースを視察)

(※)アフリカン・フェア2013とは

アフリカン・フェア2013は、アフリカ産品やビジネス情報を紹介するTICADVの公式イベントとして、経済産業省とJETROが主催。出席者は、アフリカ各国要人、各国大使館・政府関係者等で、会場にはクールジャパンを題材にして日本製品を紹介するコーナーを設置。

3. クールジャパン発信の具体的取組 (2) — Tokyo Crazy Kawaii Parisにおける発信 —

Tokyo Crazy Kawaii Paris(※)を視察するとともに、この機会を活用して食やファッションなどの日本の魅力を発信。和装・洋装で、日本食の試食や新作ゲームのデモンストレーションなどを行った。



(着物でラーメンを試食)



(着物でゲームを体験)



(ゴスロリ衣装で記念撮影、多くの来場者、記者に囲まれる。)

(※) Tokyo Crazy Kawaii Parisとは

従来からパリではフランス人・企業によるサブカルチャー中心の日本文化の紹介イベントであるJapan Expoが行われてきた。

これに対し、電通や大日本印刷など日本企業中心の実行委員会が主催し、食、音楽、ファッション、ゲーム、伝統工芸品など日本の様々な文化や産業を紹介するイベントとしてパリで開催したのがTokyo Crazy Kawaii Parisであり、9月に初開催。

4. クールジャパン発信の具体的取組 (3) — 米国ジャパン・ソサエティーにおける発信 —

米国ニューヨークに所在するジャパン・ソサエティーにおいて、「クールジャパン戦略とは～世界に発信する日本の魅力～」と題して講演を行い、日本の様々な魅力について発信。また、その中で「一番やりたいのはクールジャパンを社会運動にすること。日本人自身が日本の良さを知らないこともあるので、クールジャパンに関する提案を日本だけではなく世界各国から受け付けたい。」と、国民みんなでムーブメントを起こす方策を展開する旨発言。



(Photo by Alan Klein)

(講演する稲田大臣)



(講演の様子)



(Photo by Alan Klein)

(会場からの質問に答える稲田大臣)

5. クールジャパン発信の具体的取組（４） ーシンガポールにおける発信ー

シンガポールでは、米国と同様にクールジャパンに関する講演を行い、日本の様々な魅力について発信。さらに、ローレンス・ウォン文化・地域・青年大臣との会談を行い、同国におけるクールジャパン展開の現状やシンガポール文化の国際展開の現状と課題について意見交換を行った。また、伝統美術から最先端のアニメやゲームまで、日本の多様な魅力を伝えるジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）を訪問し、JCCの今後の活用について意見交換を行った。



（会場からの質問に答える稲田大臣）



（ウォン大臣からの記念品
を贈呈される稲田大臣）



（JCCでの意見交換の様子）

6. 地方版クールジャパン推進会議の開催

地方版クールジャパン推進会議

- 稲田大臣が地方都市に赴き、「地方」あるいは「外国人」といった切り口で「地方版クールジャパン推進会議」を開催し、海外展開の成功事例や課題、行政への要望などについて議論する。
- 地方からクールジャパンに関する国民の参加を促しつつ、地域に眠るクールジャパン資源を掘り起しを行いつつ、各地方での異業種連携や地域間連携につなげていく。

【第1回開催概要】

日時: 12月14日(土)、15:30~17:30

場所: 京都府

出席者: 稲田大臣、京都においてクールジャパンの各分野で取組まれている方々

- | | |
|--------------------|--|
| ・コンテンツ分野の研究者 | ・伝統文化の西陣織である技術を用いて
日本文化を発信するプロデューサー |
| ・外国人にもマンガを教えている漫画家 | ・手術シミュレーションのための心臓モデル
クリエイター |
| ・時代劇の製作・国内外への伝道者 | ・日本文化を伝えるイベントディレクター |
| ・日本酒を作る杜氏 | ・お弁当文化の発信を行っている外国人 |
| ・外国人に日本料理を伝える日本料理人 | ・京都府、京都市の方 |

【第2回: 愛媛県松山市で開催(平成26年3月)】

7. CJ (クールジャパン) ムーブメント推進会議～クールジャパンをデザインする～

CJムーブメント推進会議

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、マーケティングやブランディングの観点から今後のクールジャパン関連イベントを、これまでのものより魅力的なものにデザインしていく
- 会議には様々な有名ゲストを呼び、さらにはインターネット中継やSNS等を通じて視聴者と双方のやりとりを可能にすることで、広く国民の関心を引きクールジャパンの機運を盛り上げる。

【メンバー】

出席者：稲田大臣

太刀川英輔(デザイナー)、葉加瀬太郎(ヴァイオリニスト)、
篠原ともえ(タレント)、古市憲寿(東京大学大学院)、日本政府観光局(JNTO)、
JETRO、国際交流基金、クールジャパン機構、電通(平均年齢36歳)

ゲストスピーカー：<第1回>パッキンマックン(タレント)、トム・ヴィンセント(雑誌編集長)
<第2回>安藤美姫(フィギュアスケーター)、高岡浩三(ネスレ日本社長)

第1回は4月21日、第2回は5月28日に開催

